夕刊

常磐新聞

五月十日十五日廿日廿五日卅日

定價（一ヶ月二五十錢　一ヶ年二四四十錢）

廣告料（一行五十錢　場所指定廿錢增）

福島縣小名濱町古港一　發行人　伊藤藤次

福島縣平町南町五九　發行所　常磐新聞社

鹿島村々會議員候補者特輯號

鹿島村村會議員候補者と其配置を見て

五月二日施行さる鹿島村村議戰は日迫ると共に十二名定員に一名の過員に止まる十三名に拘らず何れも有力なる互格の勢力にて大勢の見込付かず各候補者並に運動員は秘策をめぐらし最後の月桂冠を獲べく今や戰陣酣である。

其投票數と候補者の配置を見るに總投票失格を除き正味三百八十票であり平均一人當り二十九票である故に當落の差は僅少にて一二票の爭奪戰に依り最後の當落は運命つけらるゝものと見る。

御代部落は票數二十八票に對し有力佐原候補は部落一致の輿論を擔ふての出馬なれば先つ安全地帶と見ることが出來るであらう、舟戸飯田は聯合して投票數三十五票に對し新進赤坂氏の出馬は悠々高點にて當選の榮冠を握るものと見らる。久保部落は票數三十六票に對し元老格の佐藤米治氏と德望家としての鈴木傳氏の二名立候補一人當り十八票と云ふ僅少の分配數なれど何れも有力なる候補者なれば萬落選などの心配はなきも觀察して居る下藏持は二十八票に對し今を時閃く有力なる候補者志賀直哉氏の見込付かず各候補者並に運動員は秘策をめぐらし最後の月桂冠を獲べく今や戰陣酣である。

其投票數と候補者の配置を見るに總投票失格を除き正味三百八十票であり平均一人當り二十九票である故に當落の差は僅少にて一二票の爭奪戰に依り最後の當落は運命つけらるゝものと見る。

御代部落は票數二十八票に對し有力佐原候補は部落一致の輿論を擔ふての出馬なれば先つ安全地帶と見ることが出來るであらう、舟戸飯田は聯合して投票數三十五票に對し新進赤坂氏の出馬は悠々高點にて當選の榮冠を握るものと見らる。久保部落は票數三十六票に對し元老格の佐藤米治氏と德望家としての鈴木傳氏の二名立候補一人當り十八票と

進の波立候補者安全地帶であらう。米田は二十四票三澤は二十二票其處へ再選の興望を擔ふて戰術に祕策に体驗を有する兩氏なれば先つ中軸處で余悠のある當選を見るであらう。走熊部落は四十六票を最高の票數を有する鹿島村中心地に信望ある新人箱崎氏の立候補は些の心配もなく高點の榮冠を得る事確實過る程安全地帶だ、下矢田は三十五票の有力なる地盤に鵜沼氏の立候補は少し立遲れの感があつたが新人として好評の人丈けに當落の心配は先つ無用たるべし、上矢田は三十二票に二名の立候補鈴木氏の信望と江尻氏の扶植せる地盤は仲々に强固にて兩

名共既に當選圏内に入り些の不安もないと一般擧通がサイヅツで居り松久須根部落は二十八票に對し佐藤氏の立候補安全地帶で最も樂

選擧要項

一、投票日
五月二日午前七時より午後五時迄

一、投票場
鹿島村役場に於て施行

一、選擧長
村長　鈴木大藏

一、立會人
荒川源重、黑木美顯
高木一技、新妻一

一、當日開票

銘々に見た候補者の概貌

候補者
佐原良近氏（新）
農——四十三年

事務長　鈴木重孝氏

氏は御代部落の產、男としての働き盛り、既に一通りの道程を經茲に候補者として部落の輿望を擔へ萬場一致推薦を受けた人、其間馬すべき機會や推薦された事も一再でなかつたが謙讓

候補者
鈴木傳氏（新）
農——四十八年

事務長　鈴木秀雄氏

氏は之れ迄村議として出馬して部落の輿望を擔へ萬場

眞摯の性格は益々氏を玉にし前途洋々たるものがある

候補者
佐藤米治氏（元）
農——五十年

事務長　本人

齡未だ五十年然るに氏の如く經歷を有する人は郡下稀れと推賞するに敢て過賞の誹ないと思ふ大体の略歷を述べても助役村長代理軍人分會理事村會議員農會長消防組頭社事惣代區會議員とありとあらゆる名譽職や奉仕的事業に携り何れも秀でたる識見は村民の師表に出て稀れに見る代表的人物だ今回も氏の出馬は村治上欠く事の出來ない重要人物で斯く公共の爲に精進ある氏は之れ迄村議として出馬して部落の輿望を擔へ萬場

候補者
志賀直哉氏（再）
鹿島二助役

事務長　鈴木滿氏

資性恬淡にして快濶なる男性美的性情を豐富に持合せた人に志賀直哉氏を見出す事が出來る明るひ人對者は沈快感に浸らする丈けの味ふと持つて居る先つ稀れに見る朗なくみし易人いだ、氏は少壯より政治運動に一種の興味を持ち隨分活動も奔走も惜まなかつたが今日一派に片せず嚴正なる中立を樹前として鹿島村助役の繁忙な仕事に外交的方面を一手に引受け席温まる暇がない狀態である加ふるに信用組合の必用事を痛感し農民更生の尖端に飛躍し自ら理事長として其指導に怠りなく汎く世間を視多數の人々に接觸する丈けに圓轉る哉である

なれよ

候補者
高萩民雄氏（再）
農——四十年

事務長　大瀧榮氏

米田部落の代表的人物で再選の悅びを見る人思慮との繁忙な仕事に外交的方面を一手に引受け席温まる暇がない狀態である加ふるに信用組合の必用事を痛感し農民更生の尖端に飛躍し自ら理事長として其指導に怠りなく汎く世間を視多數の人々に接觸する丈けに圓轉る哉である

候補者
四家重雄氏（再）
農——三十六年

事務長　吉田萬次郎氏

青年時代の最高たるべき青年團長を切掛けに三十六才の若さで今度で二期の村議たるべき人、之丈けにても既に水平線上の人物たることは贅言を要しない、氏は政治に興味を持ち研究もし實踐者である、而して村治改善はは不斷の努力を拂

る温厚篤實な而して堅實な中堅農家にして家其ものにもどつしりした重みと豊家らしく素朴な點は他の追とするに足るゝし氏も豫ては消防小頭や區長など一通の、人並の道程を經て村議候補者として出馬した人頭の堅ひ動かない年輩……相當の期待も出來得るであら

候補者
波立忠作氏（新）
農——五十三年

事務長　小松源作氏

三十五票の餘猶滿々たる地盤より部落一致の推薦を受けた波立氏は幸福者であ

◆——二面へ

◆――一面より

ひ部落民よりは非常なる信用を博して居る人だ前途洋々たる將來を有する四家氏こそ大なる發展性を包含するものだ――

候補者

箱崎弘之氏（新）

農――三十八年

事務長　箱崎久雄氏

走熊は四十六票と云ふ膨大なる部落第一の投票數を有し其中より一粒撰りに推薦された箱崎氏は安全第一の僥幸兒である、氏は智識階級の人として常に指導的立場に高踏して居る、嘗ては養蠶教師として產業的方面に勇躍し又は信用組合に職を奉じた事もある、インテリ階級として世間的に眼を放ち見聞は仲々汎い未だ不惑に至らず既に完成人として敬愛を一身に集めてる前途廣漠たる氏の將來には光明を放つ事ならむ。

候補者

鵜沼忠美氏（新）

農――四十三年

事務長　本人

下矢田は三十五票に一名の立候補鵜沼氏先つ安全地帶であらう、加ふるに鵜沼氏は稀れに見る篤實な人で部落の信用は隆々たるものがある、氏は中產階級を行く篤農家で村議候補の道程たる消防小頭や區長の一通の奉仕的仕事にも携り今や四十三才の働き盛り將來の現狀其ものに滿足出來ないであらう。

候補者

江尻中氏（新）

著述家

事務所　本人

農家稀れに見る文筆者江尻中氏の名は餘りに有名である今回の立候補も永年の蘊蓄せる理想郷の夢を實現する第一歩の生齊ならん、氏の村議としての鹿島村は仲々賑かなる事ならん充分に自重して當選の月桂冠を獲られん事を切望する、聞くに既に高點にて當選疑ないとの選擧通のサイヅリ江尻氏たるもの微笑禁じ得ないものであらう。

候補者

鈴木一男氏（新）

郵便局長――四十三年

事務長　金成　靜氏

上矢田三十二票の處より二名の立候補――苦戰たるべきに有力なる候補者の而め却て上矢田は優勢との狀況である然り鈴木氏は青年團長を振出し百町人としては出來ない藝當も赤坂氏なれはこそ筆者も敬服した氏の洋々たる前途新人の爲めに氣を吐く將に痛快事だ……

◆今度の町議戰に平一丁目の髮床比佐信太郎氏が出るそふだ是非勝たしたい我黨同志頑バレ／＼　比佐黨

候補者

佐藤善太氏（新）

農――四十三年

事務長　佐藤慶藏氏

佐藤善太氏も青年時唯一の目標たる青年團長の体驗者だ――爾來一通りの名譽職や奉仕的社界事業にも盡瘁され不惑の年を迎ふると共に村議として推薦され順潮な進展振りである明晰なる頭腦と堅實なる一歩毎に踏しめつゝ進む佐藤氏の世渡りは危げがなく將來は實に意表たる重心を加ゆるであらう

候補者

赤坂稔氏（新）

農――三十二年

事務長　永井祐佳氏

最年少候補者として飯田舟戸聯合部落より推薦された將來洋たる赤坂氏は性温良備る德老人も及ばぬ如才なき社交振り――宜る哉三十二才の若年で先輩の野心滿々たる人々を凌駕し些の不平も言せぬ點仲々凡夫には出來ない藝當も赤坂氏なれはこそ筆者も敬服した氏の洋々たる前途新人の爲めに氣を吐く將に痛快事だ……

青年團在郷軍人分團の幹部として常に熱心なる盡瘁振りである。

讀者の聲

◆平町には共同便所が無くなつて全く困るよ何とかならないものかねドブのあたりでコッソリやるとオイコラアーン　閉口生

◆田久とか野球とかのめかけだが手かけだかは材木町から大工町のあたり〳〵越したそうだがフトイ女だとのへんにゐるのだが此欄で知らせて下さい　聞き度男

◆衛生でやかましく云ふ警察の便所は實にキタナイも少しきれいにしてはどうです　實見生

◆僕は用があつて谷口のそばまで行くのに鍛冶町を通つたら角の○○屋のチョイト嬢が俺の袖をひつぱつた實に怪からん其筋の注意を願ひます　あきれた生

◆此の間僕は始めて杵壽しで桑川と云ふ酒を呑んだが慥に酒の家の價値はあるそれに小料理ながらもきのいた五品の肴がきに入つたそれもロハといふから尙氣にいつた　酒野好造

◆私は町内のある店の小僧ですが年が年中休みなく追ひ使はれてゐますせめて東京の樣に月一回位の公休日をきめて下さいお願ひです　○○屋の小僧

◆今度の町議戰に平一丁目の髮床比佐信太郎氏が出るそふだ是非勝たしたい我黨同志頑バレ／＼　比佐黨

外科專門
レントゲン科
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番
◇病室の設備入院應需◇

營業課目
冷凍部。鑛油部。
魚市場。製造部。
㊀
磐城水產工業株式會社
社長　小野晋平
支配人　福尾伊太郎
小名濱町
電話六六番　百十番

內科外科耳鼻咽喉科
宮津醫院
小名濱町西町
電話百四十二番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋㊀釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九九番
東京振替貯金口座一〇九五六

呑む人の身になつて賣る店
一度來たなら必ず來る
緣川酒店
平町材木町角　電話四八六番

バツカス！とは酒の神
酒と美人のサービス滿点
平町三丁目
カフエー　バツカス
電話

吉伴鐵工所
平町　電話二二五番

資本金九百萬圓
福島縣支金庫
小名濱町金庫
株式會社
七十七銀行
小名濱出張所　電話五番

湯本
小名濱
乘合自動車
馬目自動車部
賃切ハ高級車ノ準備アリ

名濱みやげ
新松屋菓子司舗發賣
千鳥羊羹
御みやげの王
味覺百パーセント
電話七十五番へ

お散歩のお返りには
是非杵壽しと黑猫へ
呀へた料理と
美人十數名の心地よき
サービス
杵壽し
カフエー黑猫
話電六八七

銘酒は清世界
清世界
清水正宗
醸造元
清水屋本店
小名濱町中島通り　電話六番